

エヌアイシ・オートテック (5742) アウトパフォーム (継続)

18/3 期 Q1 は 13.9%増収、営業 61.7%増益で上期のみ増額、通期もいずれ増額修正に

株価 2751 円 (8/4) 時価総額 151 億円 (8/4) 発行済株 5500 千株 (8/4)  
 PER (18/3 : 20.5X) PBR (3.61X) 配当 32 円 配当利回り 1.16%

要約

- ・ 18/3 期 Q1 は半導体液晶関連事業伸長で 13.9%増収、61.7%営業増益と収益上伸
- ・ Q1 を受け 18/3 期上期のみ増額修正、2 ケタ減益予想から一転増益予想に
- ・ 18/3 期に変更なく、下期の新工場本格稼働、合理化効果がフルに寄与し通期増額修正へ
- ・ 大型 LCD 設備投資に加え EL 設備投資も本格化、半導体設備投資拡大持続で収益拡大続く
- ・ 株価は増額修正予想 EPS134 円に対し精密機械平均 PER23 倍の 3080 円目標

18/3 期 Q1 は半導体液晶関連事業伸長で 13.9%増収、61.7%営業増益と収益上伸

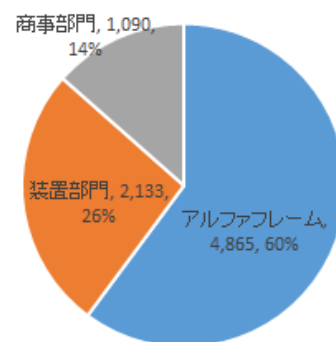
18/3 期 Q1 決算が 8/4 に開示された。17/3 期 Q1 は売上高 19.15 億円 (13.9%増)、営業利益 2.23 億円 (61.7%増)、経常利益 2.25 億円 (71.7%増)、税引利益 1.51 億円 (72.6%増)、受注高 23.27 億円 (3.8%増) と大幅増収増益を達成した。

部門別では主力のアルファフレームが FPD 製造装置向けに引き続き伸長、半導体制動装置向けも高水準の受注を獲得、受注高は 17.3%増の 15.46 億円、売上高は前年同期比 2.4 倍の 12.83 億円、構成比も 2/3 を占めた。一方、機械装置は売上高が 22.7%減の 3.59 億円 (12.9%減) と、受注は自動車部品、FPD むけクリーンブース案件の継続受注獲得も前期駆け込み

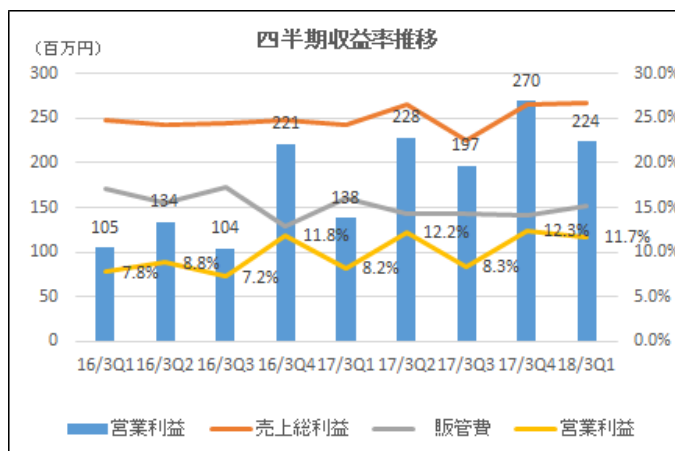
受注分がなくなり受注、売上とも大幅減に。商事部門は売上高 2.72 億円 (1.1%減) とほぼ横ばいに推移した。

全体を通じてキヤノン向け LCD 露光装置向けを中心に好調持続し (17/3 期キヤノン向け売上 29.54 億円、構成比 36.5%)、受注残 53.2%増の 27.8 億円をかかえ、新工場の本格稼働が待たれる格好となっている。

17/3部門別売上構成(百万円)



四半期収益率推移

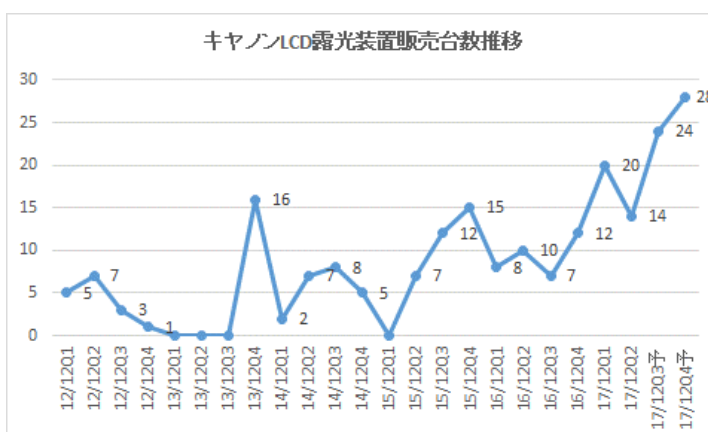


## Q1を受け18/3期上期のみ増額修正、2ケタ減益予想から一転増益予想に

Q1の好決算を受け、会社側では18/3期上期のみ上方修正を発表、上期を売上高40.2億円（1.55億円増額、前年同期比13.4%増）、営業利益3.9億円（0.64億円増額、6.5%増）、経常利益3.9億円（0.66億円増額8.7%増）、税引利益2.6億円（0.43億円増額、8.1%増）予想と、2ケタ減益予想一転して増益予想に変更した。上期は昨年11月より建設を進めていた新工場の立山事業所が6月完成、7月より本格稼働することに伴い、償却負担や初期の雑費が膨らむなどを想定、10.9%営業減益予想としていたが、増収効果や付加価値の高い製品群の効果で増益を確保できる見通しとなった模様。但し、2Qだけを逆算すると売上高は前年同期比12.9%増の21.05億円ながら、営業利益は同27.2%減の1.66億円予想と、新工場負担増で減益と想定している。但し、新工場稼働は順調であり、建屋の7億円増はあるものの、償却負担増はあまり大きくなく、受注残消化とともに上期収益も増額が期待される。

## 18/3期に変更なく、下期の新工場本格稼働、合理化効果がフルに寄与し通期増額修正へ

18/3期初会社予想の売上高83.48億円（3.2%増）、営業利益8.49億円（2.0%増）、経常8.49億円（1.9%増）、税引利益5.61億円（1.9%増）は今回修正がなく、結果として下期減額となっており、今後、増額修正される見通しにある。また下期は既存の立山工場や流杉工場、そして立山事業所での生産効率化が本格寄与し利益率の改善が見込める一方で、LCD設備投資や半導体設備投資を慎重に見るなどで、前年同期比1.3%減収、12.0%営業増益予想としており、現在のキヤノンの大型LCD露光装置受注の状況、半導体設備投資活況状況から、下期収益も前年同期比増収が見込まれ、営業利益は大幅増益が期待され、通期として2ケタ増収増益が見込める。



## 大型LCD設備投資に加えEL設備投資も本格化、半導体設備投資拡大持続で収益拡大続く

FPD投資は大型LCDTV向けに加えて有機EL投資が本格化見通しにある。同社はキヤノン系のキヤノントッキとも取引があり、今後同設備向けにも需要拡大が期待される。また立山工場の増強により大型装置への対応も可能となり、半導体、FPD、医薬・食品、自動車向けなどへの装置売上高が拡大しよう。主力製品のアルファフレームシステムと各種装置を組み合わせ、工場全体の生産性向上をコーディネートできる体制が進み、19/3期も半導体・FPD向け需要拡大と装置事業の本格拡大で増収増益が続くよう。

## 株価は DO 増額修正予想 EPS134 円に対して精密セクター平均 23 倍の 3080 円目標

株価は会社予想 EPS103.1 円に対し 26.6 倍と割安感はない。しかし上期会社予想が増益予想に転じ、さらに再増額修正される可能性も高く、通期では 2 ケタ増収増益、来期も FPD・半導体設備投資産業向けを中心にソリューションビジネスの拡大から増収増益が見込まれ、DO 予想 EPS134 円に対し、精密セクター平均 PER23 倍の 3080 円を目標としたい。

エヌアイシ・オートテック(5742)										(百万円、円)	
	売上高	増減率	営業利益	増減率	経常利益	増減率	税引利益	増減率	EPS	配当	
16/3	6,177	13.2%	563	68.2%	566	64.0%	364	36.7%	66.7	23.00	
17/3Q1	1,682	24.7%	138	32.0%	132	24.2%	88	26.7%	16.1	0.00	
17/3Q2	1,864	22.4%	228	70.2%	227	70.9%	153	81.3%	28.0	0.00	
17/3Q3	2,360	64.2%	197	90.1%	199	92.0%	119	82.2%	21.9	0.00	
17/3Q4	2,183	16.9%	270	22.0%	276	23.7%	192	32.7%	35.2	30.00	
17/3H1	3,545	23.5%	366	53.4%	359	50.2%	241	56.6%	44.1	0.00	
17/3H2	4,543	37.5%	467	43.8%	475	45.3%	311	48.1%	57.1	30.00	
17/3	8,089	31.0%	833	47.8%	834	47.4%	552	51.7%	101.2	30.00	
<b>18/3Q1</b>	<b>1,915</b>	<b>13.9%</b>	<b>223</b>	<b>61.2%</b>	<b>225</b>	<b>70.6%</b>	<b>151</b>	<b>71.7%</b>	<b>27.9</b>	<b>0.00</b>	
18/3Q2 予想	2,105	12.9%	167	-26.7%	165	-27.3%	109	-28.6%	19.9	0.00	
18/3H1 期初会予	3,865	9.0%	326	-10.9%	324	-9.7%	217	-9.8%	39.8	0.00	
18/3H1 修正予想	4,020	13.4%	390	6.5%	390	8.7%	260	8.1%	47.7	0.00	
18/3H2 期初会予	4,483	-1.3%	523	12.1%	525	10.6%	344	10.6%	63.3	30.00	
18/3H2 修正予想	4,328	-4.7%	459	-1.6%	459	-3.3%	301	-3.2%	55.4	30.00	
18/3 会予	8,348	3.2%	849	2.0%	849	1.9%	561	1.9%	103.1	30.00	
18/3H1 DO 予	4,200	18.5%	470	28.3%	470	31.0%	310	28.9%	57.0	0.00	
18/3H2 DO 予	4,800	5.7%	610	30.7%	610	28.5%	420	35.0%	77.2	30.00	
18/3 DO 予	9,000	11.3%	1,080	29.7%	1,080	29.5%	730	32.3%	134.2	30.00	
19/3 DO 予	10,200	13.3%	1,350	25.0%	1,350	25.0%	900	23.3%	165.5	40.00	

半期	16/3H1	16/3H2	17/3H1	17/3H2	18/3H1 D O 予	18/3H2 D O 予	19/3H1 D O 予	19/3H2 D O 予
売上高	2,872	3,305	3,545	4,543	4,200	4,800	5,050	5,150
営業利益	239	325	366	467	470	610	660	690
経常利益	239	327	359	475	470	610	660	690
親株主帰属純利益	154	210	241	311	310	420	440	460
半期セグメント売上情報	16/3Q2	16/3Q4	17/3Q2	17/3Q4	18/3Q2	18/3Q4	19/3Q2	19/3Q4
アルファフレーム	1,363	1,429	2,031	2,834	2,750	3,250	3,400	3,400
装置部門	1,028	1,421	995	1,138	900	1,000	1,050	1,150
商事部門	481	455	520	570	550	550	600	600
売上合計	2,872	3,305	3,546	4,542	4,200	4,800	5,050	5,150
半期セグメント 営業利益	16/3Q2	16/3Q4	17/3Q2	17/3Q4	18/3Q2	18/3Q4	19/3Q2	19/3Q4
アルファフレーム	87	100	244	392	400	500	560	575
装置部門	143	214	99	58	55	95	84	99
商事部門	8	11	24	15	15	15	16	16
部門合計営業利益	238	325	367	466	470	610	660	690
調整額	0	0	0	0	0	0	0	0
営業利益	239	325	366	467	470	610	660	690
半期セグメント 営業利益率	12/6Q2	12/6Q4	17/3Q2	17/3Q4	18/3Q2	18/3Q4	19/3Q2	19/3Q4
アルファフレーム	6.4%	7.0%	12.0%	13.8%	14.5%	15.4%	16.5%	16.9%
装置部門	13.9%	15.1%	9.9%	5.1%	6.1%	9.5%	8.0%	8.6%
商事部門	1.7%	2.4%	4.6%	2.6%	2.7%	2.7%	2.7%	2.7%
合計	8.3%	9.8%	10.3%	10.3%	11.2%	12.7%	13.1%	13.4%
調整額	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
営業利益	8.3%	9.8%	10.3%	10.3%	11.2%	12.7%	13.1%	13.4%

